

平成18年度の決算がまとまりましたので、いなべ市の財政状況について報告いたします。

近年、国からの補助金や交付金の大幅な削減など大きな変革の時代を迎える中、いなべ市では、基金（預金）の積立が3億円増額でき、また、起債（長期借入金）の残高も5億円の減額を達成するなど好決算となりました。

要因としては、大手企業の好調な業績により法人市民税が4割近くも増加し、市税収入が初めて90億円を超えたことにあります。地方交付税交付金も、前年とほぼ同額の22億円を確保できました。その結果、合併時に22億円まで急落した財政調整基金も46億円と合併以前の水準まで回復できました。また、歳出に占める借金の返済金の割合（実質公債費比率）は9.7%と三重県内の市の中では最も低く、健全経営を維持しています。

しかし、今後借金の返済が増えていくことを考えると市の財政は楽観できる状況ではありません。また、いなべ市の普通会計の歳出規模191億円は、同じ規模の市の歳出165億円と比べ26億円も多くなっており、今後とも、学校や福祉施設の充実に努めつつ、さらなる歳出の削減に取り組む必要があります。

引き続き、みなさまのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



北勢町 貝野橋「渡り初め」▲



## 無料駐車場増設

### 北勢線大泉駅& ふれあいの駅うりぼう

利用者の増加とうりぼうの活況で、72台収容の兼用駐車場が連日飽和状態となっていました。そこで今回新たに大泉駅とふれあいの駅うりぼうに68台分の駐車場を増設し、全部で140台収容の駐車場となりました。

みなさんぜひ、ご利用ください。



## 員弁阿下喜線運行開始

### コミュニティバス「アイバス」 員弁地域運行ルート

市では、誰もが利用しやすい交通機関としてコミュニティバス「アイバス」の実証実験運行をしています。11月1日から、員弁東線を員弁阿下喜線と改称し路線を変更し、楚原北バス停からはいなべ総合病院バス停まで直行便を設け、運行を開始しました。

地域のみなさんの生活の足として、今後もより一層利便性を高めるよう努めてまいります。みなさんの積極的な利用をお願いします。

